

# 自治の力を育てよう



園田学園女子大学教授

野口 克海 氏

## 教育随想



平成18年6月1日

# 6月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
園田学園女子大学教授 野口 克海氏	
この人に聞く	2
岡崎水泳協会顧問 大森 國臣氏	
羅 針 盤	2
葵中学校長 長坂 正延	
ふれあい	3
矢作北中 清水 孝治	
特 集	4
ふるさとに学ぶ子供たち 伝統産業とのふれあいを通して	
岡崎市の教育予算	6
お知らせ	8
フォト・ヒストリー	10
野外劇「家康の自立」 (昭和57年)	
この本を	10

「そういえば、小さい時から学校へよく花を持っていったねえ。」  
大人になった娘と食事をしている時、なにげなく尋ねた。  
「今でも覚えている。小学校二年生の時、家にあった花を学校へ持っていったら、担任の先生がとても喜んでくれて……。」  
「それが、病みつきになって、高校生になっても……。」  
「そう。」  
「お父さんも記憶がある。荒れている中学校で、頑張ってくれている生徒会の子らに『たのむで！』って言うてたら、子供らは期待されている分だけ一生懸命にやってくれたんだよなあ。」  
「子供って単純？」

「いや、子供の力ってすごいなあと思う。」  
子供は、先生が喜んでくれたら、病みつきになって高校生まで続ける。子供は、頼りにされたら、「まかせといて！」と頑張ってくれる。子供は、「愛されてる」と感じたら、笑顔で返してくれる。子供は、ほめられたら、もっともっと頑張ろうと思う。子供たちを信じよう。子供たちを頼りにしよう。子供たちに相談ののってもらおう。子供たちにまかせてみよう。  
私たち教師は  
何でも教えたがる。



「何でも指示・命令したがる。何でもかまひすぎてしまう。そして、何にも自分でできない子にしてしまう。」  
熱心な教師ほどその傾向がある。「子供の自治の力を育てよう。」  
(のぐち かつみ)



## ロマンを追いかけて

岡崎水泳協会顧問

大森 國臣 氏

「朝霧の中、川をカヌーで渡っていくと、鳥たちがたくさん眠っている場所に行けるんです。幻想的です。岡崎にもそういった場所がたくさんあるんです。感動しますよ。」  
郷土の自然を愛してやまない大森さん。中学時代から水泳を始められ、現在は、スイミングクラブの社長を務める傍ら、岡崎市水泳協会員として、自然に親しむ様々な催しの企画や運営に携わっていらっしやる。

「高校二年の時に、寒中水泳を経験しました。当時は、古代絵巻さな



がらの演出もあり、大変なにぎわいで、殿橋から堤防まで身動きができません。大森さんが水泳協会の協力を得ていらっしやる場所、菅生川で復活しようという話になった。そのために、大森さんは役所や関係諸団体との交渉に随分奔走された。

「いいことは率先してやるべきだと思います。私は子供たちに『頑張れなさい。努力しなさい』と言っています。ですから、尻込みしてはいけません。我に続けと、自ら手本を示さなければと思っています。」

その後、水の大切さを青少年や保護者に伝えるために、足助町で植林活動を始められた。

「その土地に昔からある広葉樹を植えました。一つは、保水能力を高め、きれいな水を提供し、水の大切さを教えるため。もう一つの目的は、ロマンです。自分が植えた木が年々大きく育ちます。五十年もすれば自分は死んでしましますが、木は残る。脈々と我々の思いが伝わって行くじゃないですか。」

植林をした当初は、慣れない作業に悪戦苦闘したが、次第に木の生長を見ながら、山の幸を楽しみ、自然に親しむ会へと発展していった。

「いかだを作って川遊びをしたり、古代米を食べたりします。子供たちも親御さんも本当に夢になります。やっぱり、自然に親しむというのは、人間の本能ですね。」

こうした活動の根底にあるのは、世のため人のためになること、そしてロマンがあることと話す大森さん。その情熱に多くの人が共感し、人の輪が広がる。水を愛し、自然を愛する大森さんのロマンは果てしなく続いている。

氏名 おおもり くにおみ  
生年月日 昭和十五年八月二十四日  
住所 日名本町六一



## 「授業名人」目指して

葵中学校長 長坂 正延

「先生が十五分以上喋らない授業」随分前になるけれど、こんなテーマで、ある中学校が研究発表会を行った。

「お前は、授業で喋り過ぎ。」

先輩にいつもそう言われていた私は、そのテーマの実に具体的なのに飛び付いて、研究会に参加した。

大規模中学校ではあるが全クラスで授業が公開されていた。どのクラスも「十五分以内」というわけではなかったけれど、全校が統一して、それを目標に据えていたのに大いに感心した。

十五分が長いかわいいか。感じ方は人それぞれだと思う。しかし、「十五分以上は喋らない」をテーマに据えたということは、普段我々が、十分の授業のかなりの部分を喋っており、「何とかしなくては」の反省が、大いにあったものと想像する。



## 人生苦がありや、楽くるさ

矢作北中 清水 孝治

一年からの持ち上がりで三年を担当することになった。この学年は、一年のときから、本当にいろいろな問題行動が起きた。私自身、ここまですべて問題が起きる学年は初めてなので、驚くと同時に頭を抱えることの連続だった。しかし、悩んでいても始まらない。「人生苦がありや、楽くるさ」を合言葉に、学年で力を合わせて前向きに取り組むことにした。

頑張った話だけでなく「部活動で疲れて宿題もやらずに寝てしまった」「部活動が楽しくないと感じることも多かった」などの本音の話も聞いた。先輩も同じような思いで学校生活を送っていたことを知り、生徒はやる気になった。

二学期になった。進路選択で親と意見が合わず投げやりになる生徒、勉強しなければならぬ現実から逃げる生徒もいた。こうした現実から、自分自身を見つめ、充実した生活を送ろうと考える時間が必要だと感じた。そこで、絵本『100万回生きたねこ』を使って道徳の授業をした。最後にねこが生き返らなかつた理由について発問すると、「自分にとつて本当に大切だと思えるものが見つけれられ、自分が満足する生き方ができたから」と答える生徒がいた。

そして、合唱コンクールの時期になった。学級は、学級代表を中心に自発的に一生懸命練習していた。合唱もいい感じで仕上がっていった。しかし、コンクールで入賞することはできなかった。コンクール後の短学活で、もう一度クラスで歌うことになった。すると、驚くことにはほぼ全員の生徒が、大粒の涙を流しながら歌っていたのである。この中には、事情があり一学期はほとんど出席で

きなかつたA男、自分勝手になかなか歌練習に参加しなかつたB子もいた。泣きながら歌っている生徒を見て、思わず目頭が熱くなった。クラスが一つになった瞬間だと感じた。翌日、合唱コンクールの感想を書いた。おとなしく、クラスの輪に入つて行動することが苦手なC男は「まったくやる気がない自分が、ここまでするようになったことは、いい思い出になりました。人は他人に影響を受け、少しの期間でも変わるのだと知りました」と。まじめではあるが、ちょっと冷めた性格のD子は「あまり人前では泣かないというか、本当に涙腺があるのかつていうくらいの自分が泣いたことには驚きだった。賞を取れなかつたのは悔しかつたけれど、三年九組のみんなが『風のめぐるとき』が歌えて本当によかつたです」と書いた。

「人生苦がありや、楽くるさ」合言葉どおりの学年になった。



行儀よく先生の話を聞いている入學当初や学年始めの頃はいいけれど、そのうちに生徒たちは、集中力を欠いてくる。五十分間の授業の中で、生徒の活動をいつ、どのように、どんな内容で組み込むかは先生の腕。本当に大事なことと思う。もちろん、時には、五十分間みっちり先生の話を進む授業もあると思う。しかし、知識の受け渡しとばかりに、板書と先生の話だけの授業の連続は、果たして、生徒の側に立ってみた時どうだろう。

いかに喋らないか。どこまで我慢できるか。そのところが実に大事と思う。

喋らないで生徒をどう動かすか。そこがプロの腕である。

### 「授業名人」を目指して

- ・ 授業力のワンランクアップを。
- ・ 「分かるか」、「楽しいか」。自分の授業を生徒の側に立って分析を。
- ・ 「授業が楽しくなった」という生徒の声を励みに。
- ・ 先生が喋る時間は、十五分を限界に。
- ・ 「はて今日はどんな手で来るか」授業は、導入で決まる。

全先生で、右のことを確認し合つて、新年度がスタートした。



# ふるさとに学ぶ子供たち

## 伝統産業とのふれあいを通して

▲ 八丁味噌蔵での写生（連尺小）

古くから城下町として発展してきた岡崎では、多くの産業が興り、現在に引き継がれてきている。市内の小中学校では、この営みを教育の場に生かそうと様々な実践がなされている。

社会科では、三河仏壇、石工、和ろうそくなどに多くの学校が見学を訪れ、熟練の技に直接触れている。図画・工作科や美術科では、八丁味噌造りの職人や石職人さんたちが、モデルとして取り上げられている。また、総合的な学習の時間でも矢作り、養蚕、しめ縄などの体験や調査を通して、伝統産業に携わる人々の生き方、その成り立ち、それを取り巻く社会的な環境に接し、ふるさとを見つめ直す学びが行われている。

見学を受け入れてくださる職場の方々も、「子供の素朴な疑問で、こちらが勉強をし直すこともあります。また、子供の新鮮な驚きは、とても刺激になります」「大変な面もあるけど、子供たちが興味を持ってくれることはやっぱりうれしい」「伝統に生きる大人の元気のよさを伝えられるよい機会になっています」と、みなさん好意的である。

郷土を愛する心は、郷土を知るところから芽生える。これからも多くの子供たちがふるさとに学び、豊かな人間性を育んでいくことが期待される。



▲ 矢作りの体験学習（矢作中）



▲ 燈籠を彫る石工の写生（常磐南小）



▲ まゆの染色 (豊富小)



▲ 石の表札作り (南中)



▲ しめ縄作り (大門小)



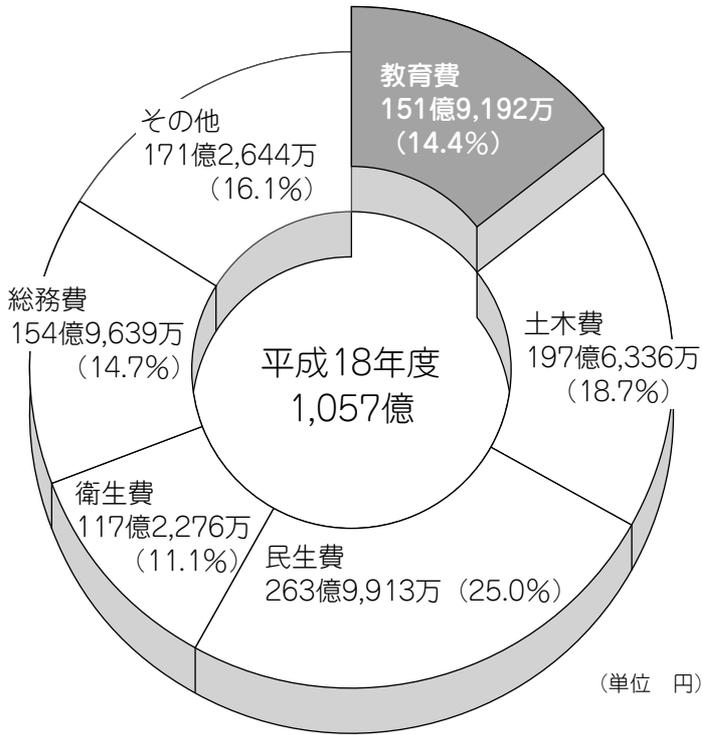
▲ 和ろうそく作り見学 (梅園小)

伝統産業に学ぶ実践に取り組んだ学校

(平成17年度の実践より)

石 工	羽根小(4年:総合) 連尺小(6年:総合) 生平小(2年:生活) 矢作南小(4年:総合) 南 中(2年:総合) 常磐中(1年:理科) 六ツ美中(1年:社会)
	八丁 味噌
三河 仏壇	岡崎小(4年:社会) 美合小(4年:総合) 連尺小(6年:総合) 愛宕小(4年:社会) 城北中(2年:総合) 六ツ美中(1年:社会)
和 ろうそく	梅園小(3年:総合) 六名小(6年:総合) 連尺小(6年:総合) 城南小(5年:総合) 城北中(2年:総合)
そ の 他	和太鼓: 梅園小(3年:総合) 愛宕小(2年:生活) 六ツ美中(1年:社会)
	和菓子: 連尺小(6年:総合) 城北中(2年:総合)
	畳: 愛宕小(2年:生活) 連尺小(6年:総合)
	酒造: 甲山中(1年:総合) 額田中(2年:総合)
	花火: 城北中(2年:総合) 六ツ美中(1年:総合)
弓: 梅園小(3年:総合) 矢: 矢作中(5年:総合)	
しめ縄: 大門小(全校:総合)	
養蚕: 豊富小(3年:図工・理科)	

〈一般会計予算〉



人・水・緑が輝く  
活気に満ちたまちづくり

平成十八年度  
岡崎市の教育予算



▲ 屋内運動場改築 平成17年度完成 (城北中学校)



▲ 校舎増築 平成17年度完成 (井田小学校)

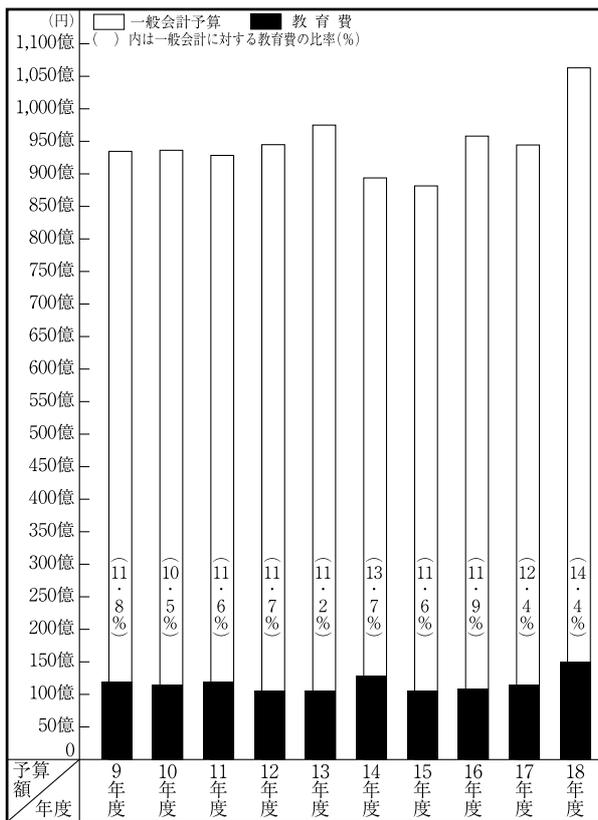


▲ 屋内運動場改築 平成17年度完成 (南中学校)

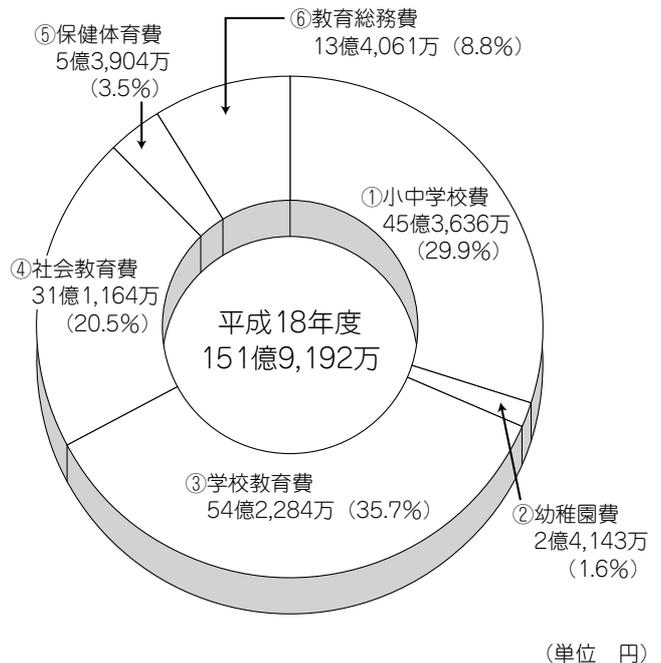


▲ プール改築 平成17年度完成 (六ツ美南部小学校)

◆ 一般会計予算と教育費の推移

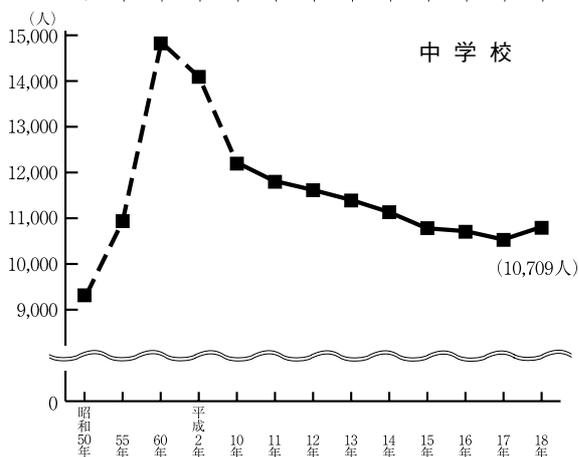
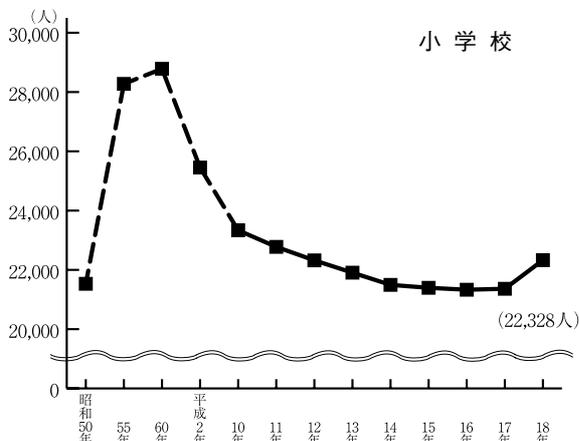


〈教育費の内訳〉



◆ 平成18年度のあらまし ◆

◆ 児童、生徒数の推移 (数字は毎年5月1日現在)



- ①小中学校費
  - ・校舎増築 (大門小・矢作西小・矢作南小・小豆坂小・六ツ美北中)
  - ・校舎屋上改修 (竜谷小・北野小・矢作北中)
  - ・屋内運動場改築 (梅園小・岩津中)
  - ・運動場整備 (葵中)
  - ・プールサイド改修 (常磐東小・甲山中)
  - ・便所改修 (矢作東小・美川中)
  - ・校内LAN整備 (甲山中・竜南中・河合中)
  - ・ドアホン設置 (小学校11校)
  - ・教室照明改修 (小学校5校)
  - ・フェンス設置 (小学校30校・中学校10校)
  - ・下水処理切替整備 (男川小・岩津中)
- ②幼稚園費
  - ・ドアホン設置 (幼稚園3園)
- ③学校教育費
  - ・行事開催事業委託及び指導研修
  - ・教育の振興, 研究助成
  - ・児童生徒の健康保持
  - ・小中学校各種スポーツ大会開催
  - ・北部学校給食センター建設 (17・18)
  - ・教員補助者活用事業
  - ・日本語教育講師の増員
- ④社会教育費
  - ・岡崎市民芸術文化行事開催事業
  - ・新図書館情報システム構築
  - ・図書館新サービス推進調査委託
  - ・視聴覚ライブラリーの管理運営
  - ・少年自然の家の管理運営 (耐震補強工事)
  - ・生涯学習事業
  - ・社会教育学級事業
  - ・市民センター管理運営及び施設改修
  - ・文化財保護事業
  - ・北野廃寺跡整備
  - ・矢作川河床埋没林調査
  - ・康生地区整備推進委託建設工事
- ⑤保健体育費
  - ・体育振興事業
  - ・体育館施設整備事業
- ⑥教育総務費
  - ・私立高校授業料補助金
  - ・私立幼稚園就園奨励費補助金
  - ・奨学資金支給, 貸付事業

# お知らせ



## ● 教育最新情報

### ◆ 教員研修の新しい動向

「教員研修制度」というものが創設されたのは、ベルリンの壁崩壊やバブル崩壊の時期と重なる平成元年です。この制度により、教員が教育公務員という意識を持てるようになりました。しかし、近年の社会構造の急激な変化を背景として、学校教育が抱える課題は日々複雑化・多様化しています。また、現在の教員の年齢構成を見ると全国的に五十歳前後の層が厚く、近い将来、教員の大量退職時代が到来します。それは、平成十二年度に教員採用の競争率が十三倍だったのをピークに、十七年度は八倍弱になったことから裏づけられています。

このような現状から、文部科学省は、大学における「教員養成」、多面的な人物評価による「教員採用」、そして、各教育委員会における「研修」という各段階における「連携」の方策を検討しているところです。

◆ 魅力ある優れた教員の育成

昨年十月、中央教育審議会は、「新しい時代の義務教育を創造する」を答申し、教師に対する揺るぎない信頼を確立するために、「強い情熱」「確かな力量」「総合的な人間力」を兼ね備えた質の高い教師の育成をクローズアップしました。こういった国の意向を受けて、中核市四年目を迎える本市では、初任者研修から管理職研修まで、段階別・経歴別・年齢別にライフステージに応じた教員研修の体系化を図り、本市独自の企画・運営をしています。今年度の新たな試みとして、大きく次の二点があります。

### ◆ 新規事業（研修）の導入

① 喫緊の課題である「組織マネジメント研修」を管理職及び管理職を目指す教員を対象に実施する。

② 今日的課題である「授業力・教師力アップセミナー」を夏期休業中に実施する。

### ◆ 教員研修の統合化

① 十年経験者研修の社会体験研修と本市主催の社会体験型教員研修とリンクさせる。

② 十年経験者研修の目的（得意分野の伸長・専門性の強化）を達成するために、授業力・教師力アップセミナーとリンクさせる。

学校現場からは、目の前の子供たちの指導に精一杯で、研修会に参加することはとても難しいという声も聞こえてきます。しかし、人事権の委譲が話題になっている今、十年後の岡崎市の実情を見据えて、各学校における若手教師の育成、及び、各教科における専門性・指導性に長けた教師の育成に努めたいものです。

### ● 教科書展示会の開催

毎年、教科書展示会が教科書センターで開催されている。特に今年度は、平成十八年度から中学校の全教科の教科書が改訂され、多くの教科書会社が出品を予定している。指導要領の一部改正に伴い、発展的な内容がどう扱われているかなど、実際に見学をして、理解を深めておきたい。なお、場所や日程については次の通りである。

#### ○ 展示会場（岡崎地区）

岡崎市立中央図書館  
岡崎市明大寺町茶園十一一三

☎ 五一―二二五―

#### ○ 展示期間

平成十八年六月十一日（日）

～七月五日（水）

#### ○ 休館日

六月 十二日（月）

十六日（金）

十九日（月）

二十六日（月）

七月 三日（月）

#### ○ 展示教科書

検定済みの小学校・中学校  
高校の教科書

### ● 芸術鑑賞会

感性を育む心の教育推進の一環として、本年度も芸術鑑賞会を開催する。

本年度は、名作ファミリーミュージカル「白雪姫」を予定している。この作品には、子供たちが、優しい心、思いやりのある心を持ち、明るく、心豊かな人間になってもらいたいという強い願いがこめられている。

小学校を対象に、親子での参加を募っていくので、多くの子供が楽しめるよう、積極的な呼びかけを期待する。

○ 日 時 八月十日（木）  
午前・午後二回公演

○ 場 所 市民会館

○ 上演作品 「白雪姫」

劇団「東少」



●表 彰

- ◆津軽三味線コンクール全国大会（財団法人日本民謡協会主催）
  - 小学校の部
    - 金賞（全国一位・個人）
      - 根石小六年 加藤 祐典
  - 中学校の部
    - 金賞（全国一位）
      - 矢作中学校 優秀賞（全国一位）
      - ◆中日個人・重奏コンテスト本大会 優良賞（サキソフオーン）
        - 岩津中三年 寄田 恵莉
- ◆第四ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会
  - 中学校の部
    - 金賞 矢作北中 三年音楽部
    - 銀賞 矢作北中 二年音楽部
  - ◆第十五回愛整杯争奪少年少女柔道大会（県大会）
    - 小学校五年男子の部
      - 準優勝 矢作西小 山田 友基
  - ◆都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会（女子）
    - 準優勝 愛知県チーム
      - 矢作北中 三年 佐々木 遙
      - 城北中 三年 岩瀬みどり



▲市長に準優勝を報告する岩瀬さん（左）、佐々木さん（右）

●小中学校のようす

平成十八年度岡崎市内の小中学校の規模がまとまった。五月一日現在の学校や学級数、児童・生徒と教職員の数を表に示した。

●学校・学級の規模（市内平均）

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	447人	564人
1校当たり学級数	16学級	17学級
1学級当たり児童・生徒数	28人	33人

●学年別児童・生徒数（人）

学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	1,947	1,981	1,907	1,864	1,880	1,902	1,820	1,809	1,827
女	1,793	1,834	1,808	1,815	1,775	1,822	1,778	1,721	1,754
計	3,740	3,815	3,715	3,679	3,655	3,724	3,598	3,530	3,581

●児童・生徒・教職員数（昨年度合計は、全て額田地区は含まれておりません）

区分	学校数 (校)	学級 〈特殊〉 (学級)	児童・生徒 (人)			校長・教員(人) *養護教員・非常勤講師を含む *事務職員・栄養職員を除く			養護教員 (再計)(人)	事務職員 (人)	栄養職員 (人)
			男	女	計	男	女	計			
小学校	50	790<64>	11,481	10,847	22,328	469	720	1,189	53	53	12
中学校	19	325<29>	5,456	5,253	10,709	394	306	700	23	25	3
合計	69	1,115<93>	16,937	16,100	33,037	863	1,026	1,889	76	78	15
昨年度合計	60	1,052<87>	16,439	15,727	32,166	812	920	1,732	66	70	11

平成十八年一月一日、岡崎市と額田町が合併をして、小学校は八校を加え、五十校に、中学校は一校を加えて十九校となった。  
また、市独自予算による教員補助者の数は、昨年度より四名増えて、一〇四名となった。さらに、本年度から、退職後の教員二名が、再任用教員として、初任者拠点校指導や少人数指導をして活躍している。

○少人数学級について  
平成十六度から、愛知県内の小学校一年生の学級が、三十五人以下になっている。今年度の岡崎市においては、次の十三校がその対象となった。  
梅園小、竜美丘小、連尺小  
広幡小、井田小、福岡小  
山中小、本宿小、岩津小  
大樹寺小、矢作東小  
六ツ美南部小、上地小



## 野外劇「家康の自立」

(昭和57年)

写真提供：大樹寺小学校

近年、運動会から組立体操の姿が見られなくなってきた。演技をする子供たちの真剣で歯を食いしばる姿は貴重なものであり、練習する過程において得るものは多大である。

大樹寺小学校では、家康と関係の深いお寺の前にあることから、昭和五十七年より若き日の家康の逸話を盛り込んだ野外劇仕立ての組立体操をするようになった。家康の勇猛さにあやかるようにと、今もなお継承されている。



オーストラリア戦が初戦の、サッカーワールドカップ・ドイツ大会。先ほど行われたワールドベースボールクラシックに続き、日本代表選手の活躍を期待する国民も多いようだ。憧れの選手たちが熱き戦いに挑む。その姿に子供たちの夢も大きく膨らむことだろう。

湿地に咲く花菖蒲の鮮やかさが、わたしたちの目を楽ませてくれる。校庭の片隅に目をやると、梅雨空の下、紫陽花が微妙に色彩を変化させている。はじめじめした日が続くこの時期だが、周りの自然に目を向けると、ほのぼのとした気持ちになり、心がなごんでくる。

**シ** **オ**  
**ス** **ア**

雨の季節、今日は部活動ができるかなと、空の色を気にする子供たち。期待に反して空の色はどんよりと灰色の日が多い。三年生最後の夏の大大会まであと一か月余り。悔いを残すことなく、晴れ晴れとした気分、部活動を引退できるよう、共に努力する時だ。

スピードが何より大切にされる現代だからこそ、すべての工程に見える。本物を愛し、正しい伝統を守る人たちの真摯な姿に触れることで、子供たちの心の中に時代に振り回されることのない豊かな人間性が育っていく。



- \* 東井義雄「こころ」の教え 宇治田透玄 校成出版社 ￥1600
- \* 森信三 教師のための一日一語 寺田 一清 ￥1100
- \* おとうさん出番ですよ 佐野 恒雄 日本教文社 ￥1429
- \* 佐賀のがばいばあちゃん 島田 洋七 徳間書店 ￥514

\* 植木鉢の土 水上 勉 ￥1200  
著者の絶筆である。身近なことはもとより、幾多の話題が綴られていて興味深い。梅干しの話題では、「自分が死んだ後も、だれかを喜ばせることが楽しい」と語る。ここから、心の豊かさが伝わってくる。「妻子という球根を抱き養う、植木鉢の土になろうと思う。花よりも草に、草よりも土に」の言葉から、真摯な姿勢が溢れる。教師として、親身に寄り添う支援に心がけねばと改めて意識させられる。